

高校生を対象とした気仙地方林業職場体験会について

1 はじめに

大船渡農林振興センターでは、気仙地方の林業・木材業の事業者等で構成する気仙地方林業振興協議会と連携して、林業・木材産業の担い手確保を目的に、高校生を対象とした「林業職場体験会」を開催したので、その概要を紹介します。

2 林業職場体験会の概要

林業職場体験会は、令和5年9月19日(火)、大船渡市末崎町地内の私有林の伐採現場と製材所において、気仙地方森林組合と有限会社阿部製材所の協力を得て実施しました。参加者は、大船渡東高等学校農芸科学科1年生12名です。

(1) 林業用機械操作体験

気仙地方森林組合職員の指導のもと、スギ丸太を使って、プロセッサ、グラップル、フォワーダの操作体験を行いました。



林業機械操作体験状況

(2) 森林計測体験

普及指導員の指導により、高校生が目視、検測程、三角定規、バーテックスの4種類の方法でアカマツ立木の樹高の測定を行いました。

(3) ドローン操作体験

普及指導員のデモンストレーションのあと、高校生がドローンを実際に操作し、上空から撮影した森林の映像をタブレットで確認するなどの体験を行いました。

(4) セーザイゲーム

阿部製材所社長のコーディネートにより、熊野林星会(三重県)と三重大学が共同で開発した、収支を考えながら丸太から製材を行う製材所経営シミュレーションゲームを普及指導員も一緒に参加し盛り上げました。



セーザイゲーム実施状況

3 参加者の感想等

高校生からは、「林業の魅力を知ることが出来た」、「様々な機械が使われていることが分かった」、「林業や製材について興味を持つことが出来た」など、普段できない体験ができ面白かったという意見が多くありました。

4 今後に向けて

当センターでは、気仙地方林業振興協議会と連携を図りながら、次代を担う若者の地元定着、そして林業・木材産業の人材確保につながる取組を継続していきたいと考えています。